

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム
 第 2550 地区ガバナー：栃木 秀磨
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕
 事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
 〒325-0056 那須塩原市本町 6-34
 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
 E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2751回 村山年度 第17回 会報 2016 11-2 司会 石山桂子君

お客様

米山記念奨学生
 蘇 呈 歡 君



米山記念奨学金贈呈



宇都宮大学農学部農業経済学科3年 蘇呈歡君

会長挨拶 村山茂会長

皆様こんにちは。早いもので、もう11月を迎えることとなりました。11月は「ロータリー財団」月間でございますので、そのことについて少しお話しさせていただきます。

そもそも何故ロータリー財団が組織されたのか？1905年2月ポールハリス等により設立されたシカゴ・ロータリークラブが、国際ロー

タリーの源であることは皆様ご存知の通りです。その頃は、異業種間の交流による情報交換あるいは親睦と互惠関係の構築、そして、職業倫理の向上が主な目的で、過日、月江会員がお話しされたように、どちらかと言えば内向な集まりでした。それが、間もなく「奉仕」という概念が生まれ、地域社会への貢献、そして、世界への貢献と発足後十数年で今日の組織の概念が形成されました。具体的には、1917年当時の会長であった、アーチ・クランプが「世界でよいことをするための」基金を提案し、これが1928年に「ロータリー財団」と名付けられ国際ロータリーに組み込まれ、現在に至っている訳です。ちなみに、最初の寄付は26ドル50セントでしたが、今日では10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団になっています。



主な財団プログラムを紹介しますと、

- 国際親善奨学金（高等教育のためのフェローシップ）：1947年
- 研究グループ交換GSE：1965～66年
- 技術研修のための補助金：1965～66年
- ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金：1965～66年
- 保健、飢餓追放、人間性尊重（3-H）補助

出席報告 出席委員会 相馬征志君

(出席規定の免除会員数5名)

| 例会日 | 会員数 | 出席数 | 欠席数 | 出席率 | MU数 | 修正出席率 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 本日 11月 2日 | 38(5) | 27(3) | 11(2) | 76.3% | | |
| 前回 10月26日 | 38(5) | 30(4) | 8(1) | 81.6% | 7人 | 100% |

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128、FAX62-1076（以上石山桂子）
 メール gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

金プログラム：1978年

3-H補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種が実施され、これが世界的なポリオ撲滅活動のきっかけになりました。

- ポリオプラス・プログラム設置：1985年
- 平和世界フォーラムの開催：1987～88年
ロータリー平和フェロシップ創設のきっかけとなる。
- 地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラントの導入：2013年
世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、補助金モデルを一新しました。

黒磯クラブとしては、本年も一人当たり150ドル（本人100ドル+クラブ50ドル）の寄付を行っております。これが、3年後には地区補助金の財源として、その50%が地区に還元されます。それをもとに昨年は、那須塩原市小学校対抗駅伝競走大会への優勝カップ等及びゼッケンの寄贈。そして本年は、第2回那須塩原みるふいカップジュニアテニストーナメントへの優勝カップ等の寄贈を行っております。

以上、大まかではありますがロータリー財団の活動等についてお話しさせていただきました。本日の卓話は、ロータリー財団委員会の担当となっておりますので、私からは以上とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



幹事報告 植竹一裕幹事



第17回幹事報告を致します。

- 第2550地区ガバナーの栃木秀麿様より地区大会参加に対しての礼状が届いております。只今回覧中です。
- ガバナー事務所より各クラブの各種奉仕活動の広報について報告のお願いが届いております。内容は先日西那須野ロータリークラブの奉仕活動が新聞に掲載されました。同様に各クラブに於いて新聞・雑誌等への掲載、もしくは折り込み広告等あれば連絡をする事の要請となります。同じく回覧しております。

- ロータリー財団月間 リソースのご案内と国際ロータリー出版物日本語版注文用紙が届いております。同じく回覧をしております。
- 本日例会終了後、11月度理事・役員会を開催いたします。理事役員の皆さまお残りください。



誕生祝、結婚祝 吉光寺政雄 親睦委員長



11月誕生祝は荒牧明二会員、吉光寺政雄会員、黒澤洋一会員、鈴木久雄会員、鈴木隆子会員、高木茂会員、深町彰会員です

11月結婚祝は植竹一裕会員、檜山達郎会員、室井次男会員です。

11月誕生祝



吉光寺政雄君 荒牧明二君 高木茂君 鈴木隆子君 鈴木久雄君

11月結婚祝



植竹一裕君 檜山達郎君 室井次男君

委員会報告 荒井昌一副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

● 親睦委員会 委員長 吉光寺政雄君



結婚誕生祝のプレゼントに、植竹会員からお米をご提供頂きました。先ほど幹事報告でもありましたが、美味しく召し上がるため、お早めに冷蔵庫に保管をお願いいたします。

ニコニコボックス 津久井誠二君



村山茂君 イタリア中部地震、お見舞い申し上げます。

檜山達郎君 結婚祝い有難う御座います。

鈴木久雄君 誕生祝いありがとう御座います。

和気勝利君 先月10月16日の日曜日、あったかハート号にて、会津鉄道、日光方面を快晴の中、無事行ってまいりました。黒磯RCの変わらぬご支援を心より感謝申し上げます。

荒牧明二君 誕生祝ありがとうございます。

吉光寺政雄君 誕生祝ありがとうございます。

卓話 ロータリー財団委員会 委員長 秋間 忍 君



村山年度のロータリー財団委員会は委員長の私、秋間忍と副委員長の大島三千三さん、それに委員の荒牧明二さんの3名です。

本日はロータリー財団担当の卓話と言うことで前半、私から委員会報告をさせていただき、後半、資料を用意してくだされた米山記念奨学生の蘇呈歡君に卓話の続きをお願いしたいと考えております。

今年度もロータリー財団委員会は、会員の皆様に一人当たり150ドルの寄付、元会長の澤田吉夫さんにはベネファクターとして1000ドル以上の寄付をお願いしております。また、地区補助金を活用して「那須塩原みるふいカップジュニアテニストーナメント」事業に優勝カップ、入賞盾一式を贈呈することができました。（ここで、ちょっとだけ同事業の様子を画像でご披露します。）





さらに、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年委員会と連携して今年度申請、次年度実施の地区補助金事業を企画して地域社会への貢献を考えております。地区補助金の対象事業として良いアイデアをお持ちの方はぜひロータリー財団委員にご教示くださるようお願い申し上げます。

話題は変わりますが、先月の日本経済新聞に昨年10月1日に行われた国勢調査確定値が掲載されておりました。ご覧になったかとも多いとは思いますが、抜粋を(株)テクノ産業の月信にも取り上げさせていただきましたのでご興味のある方はご自由にお持ち帰りください。特に75歳以上の人口が14歳以下の人口を超えたこと、関東圏にありながら栃木県と群馬県はともに人口減少県であることが目につきます。何気ない一日一日があつという間に過ぎ、1年～2年を振り返るとそこには大きな変化があったことに気づきます。個人的なことですが私も70歳の大台に突入した今年当初、幼稚園、保育園の新園舎建設中に父と弟を失い、世の無常と言うか偶発する別れに戸惑っています。これから当那須野ヶ原にはちょっと長めの冬が到来しますが、皆さまもくれぐれも日々を大切に、お体には十分気を付けてお過ごしください。

それでは、引き続き蘇呈歡君に卓話をお願いします。

● 米山記念奨学生
蘇呈歡君

10月12日の例会卓話にて時間なく次回報告となったカラスミ工場の報告です。

8月中旬、台湾へ行きました。友達の案内で

ボラ養殖場を見学し経営者、林篤毅（リン・ドゥイ）にお話を聞きました。



林さんは養殖場以外、カラスミも作っています。最も品質よく、味が良いカラスミをお客さんに提供したいという気持ちで十数年間、堅持してきました。例えば、林さんが自分で設定した販売期間を過ぎたら、在庫があっても絶対販売しないことです。これは林さんの信念です。林さんから様々なことが勉強になりました。例えば、目標達成のために何があっても頑張っていることです。近年、林さんのカラスミは台湾で最も高い評価を受けました。林さんは去年も品質や味の判定試合に参加して台湾のチャンピオンを取りました。パソコンで養殖場の仕事と林さんのカラスミを紹介します。

高鉦台湾鯛繁殖場



○ 毎日、人力方式で大きいネットで稚魚を集めます。



○ 池から集めた稚魚を特製の篩（ふるい）で選別します。



○ 出荷の前日、稚魚を露天から室内へ移します。これは出荷作業をしやすいため、重要な事前準備です。



○ 篩目が違う篩で稚魚を選別し、稚魚の大きさによって給食します。



○ 選別された稚魚を日付コードで表記して管理します。



○ 出荷前、特製のメートルグラスでお客様がほしい稚魚の数を計ります。



○ 記録を通じ、稚魚の給食量を分配して管理します。



○ 包装前に酸素を入れます。



○ 定時的に稚魚の給食状況を観察します。



○ 定期的に稚魚をサンプリングして顕微鏡で健康状況をチェックします。



○ 酸素を入れたら、発泡の箱に入れます。そして、ダンボールで、もう一回包装します。完成したら、出荷します。



ご清聴ありがとうございました。

11月2日欠席(敬称略)

小野安正・瀬尾紀夫・深町彰・澤田吉夫
高木慶一・遠藤清和・黒澤洋一・安藤讓治・大島三千三・藤崎善隆・時庭稔

前回 10月26日分メークアップ(敬称略)

藤崎善隆・吉光寺政雄・安藤讓治・檜山達郎
遠藤清和・和氣勝利・田中徹

次回例会

平成 28 年 11 月 9 日

担当 会報

近隣クラブ例会日

○ 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
○ 水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
○ 木曜日 大田原中央/勝木屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○ 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
○ 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
○ 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：稲垣政一・鳥居輝一・秋間 忍・高木慶一・安藤讓治